

## 日本発 SDGs(持続可能な開発目標)の国際映像コンテストを開催



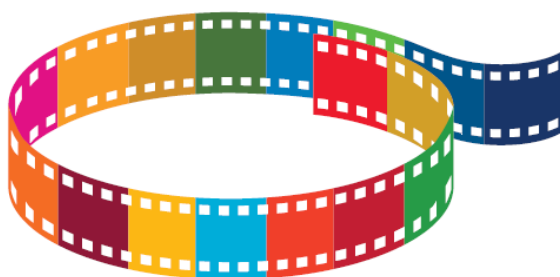
### 第1回 SDGs CREATIVE AWARD

エス・ディー・ジーズ・クリエイティブアワード

#### <要旨>

SDGs クリエイティブアワード実行委員会(委員長:水野雅弘/SDGs.TV,(株)TREE、共催北海道、札幌市)を主催とする日本発の SDGs(持続可能な開発目標)の国際映像コンテスト『第1回 SDGs CREATIVE AWARD』(以下本事業)を開催いたします。本事業は、2030年 SDGs 目標達成に向けて、デザイン・テクノロジー・映像のクリエイティブによる SDGs の一層の普及啓発や取組促進への貢献を意図して開催するものです。

世界が抱えている課題や、地域での協働アクションをあらゆる方法で表現した動画作品を募集します。2018年9月1日より応募受付を開始し、部門ごとに厳正な審査を経て2019年3月9日、さっぽろ創生スクエアを会場に表彰式を行います。プロ・アマ問わず広く国内外から募集し、動画作品はコンテスト後に教育や普及啓発を目的に誰もが活用できる公共財として一般公開する予定です。



SDGs  
CREATIVE  
AWARD

- 1st -

### <詳細>

2015年9月、国連193ヵ国・地域が合意したSDGs（持続可能な開発目標）の実現にむけて国内外の産官学民による取組が加速しています。一方で、各種調査では一般生活者への認知率は低迷しており、一層の普及啓発、並びに参画が求められます。

動画は、世界的なスマートフォンの普及やSNS時代に豊富な情報量と言語の壁を超えた視覚伝達においてSDGsの理解や普及啓発に最適のツールです。途上国の問題、地域の知恵、最新のイノベーションなど、映像が伝える世界は、社会の普遍的な課題解決に資する共感や共創につながる大いなる可能性を秘めています。

SDGsクリエイティブアワードは、世界が抱えている課題や、地域での協働アクションをあらゆる方法で表現した動画作品の募集・表彰を通じて、SDGsに取り組んでいる人々を支援し、世界中で対話やアクションの輪を広げたいと考えています。優れた表現（クリエイティブ）作品を表彰するだけでなく、この作品制作を通じて、制作者や応募者にもSDGsを知るところから始めて、表現活動による社会課題の解決に挑んでいただきたいと考えています。

また応募作品は、表彰のみならず一次通過作品については、表彰後にすべての作品をSDGsの教育や普及啓発などの非営利活動の場面において、全世界の人々が利活用できる公共財（コモン・コンテンツ）として一般公開する予定です。第1回は、SDGs17目標のうち、6つの目標に関連するものを表現する条件を加え、3年間で17全ての目標を網羅する予定です。

### <開催概要>

事業名： 第1回 SDGs CREATIVE AWARD

作品受付：2018年9月1日～2019年1月10日

審査員： 蟹江憲史（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

国谷裕子（キャスター/慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授）

菱川勢一（武蔵野美術大学教授）ほか

審査： 2019年2月初旬

表彰式： 2019年3月9日（土）さっぽろ創生スクエア クリエイティブスタジオ

SDGsクリエイティブアワード ゴールド

SDGs普及促進映像大賞、ローカルアクション映像大賞

北海道知事賞 札幌市長賞 大和証券賞 ANA賞 （※国内受賞者は招待予定）

主催： SDGsクリエイティブアワード実行委員会

共催： 北海道 札幌市

協賛： 株式会社大和証券グループ本社 ANAホールディングス株式会社

三井住友信託銀行株式会社 SARAYA株式会社

後援： 国連広報センター、内閣府（申請中）、神奈川県、JICA北海道、朝日新聞北海道支社、HTB北海道テレビ、他関係省庁、

HP： <https://www.sdgs.world>（8月下旬本サイト開設予定）

概要HP： <https://www.sdgs.world/first2018/>

### <作品応募要項>

募集部門：

- ① SDGs 普及促進映像部門
- ② SDGs ローカルアクション映像部門

参加対象：プロ・アマ問わず（個人・チーム・団体）

応募要項：

- 映像を視て SDGs について理解を深め、課題の背景を知り、関心を引き起こすことを目的とします
- 「表現する目標」に挙げた6つの目標うちいずれかに関連するものを表現してください
- 部門①は、可能な限り社会課題を知るための裏付けとなる世界の、あるいは日本の数字（統計）を必ず入れてください。またその出典を明らかにしてください
- インフォグラフィックス、アニメーション、実写など映像の表現方法は問いません

### <応募方法>

提出物：応募作品をアップロードした YouTube リンクアドレス、作品概要 300 文字程度（英語応募の場合 500word 程度）、数字に関する出典先、応募者プロフィール

提出先：アワード専用 WEB サイト作品受付投稿（WEB サイト：<https://www.sdgs.world>）




提出期限：2019 年 1 月 10 日 ※日本時間

### <本事業への期待>

協賛各社様より本事業への期待メッセージをいただきました。

|  |   |
|--|---|
|                 | <p><b>株式会社大和証券グループ本社</b></p> <p>SDGs の認知度向上と浸透は、大和証券グループの SDGs 宣言「Passion for SDGs 2018」でも掲げた重要なテーマの 1 つです。音や映像による表現により直接的に感性に訴えかけることで、SDGs への理解も深まると思います。より多くの人の心に届く作品が生まれることを期待しています。</p> |
|                 | <p><b>ANA ホールディングス株式会社</b></p> <p>ANA グループは環境・社会・ガバナンスに配慮した ESG 経営を推進し、SDGs の目標達成に貢献していくことを目指しています。この事業を通じて SDGs がさらに浸透し、「誰も置き去りにしない」目標達成に向けて「誰も無関心でない」社会づくりにつなげてきたいと思います。</p>              |
|                 | <p><b>三井住友信託銀行株式会社</b></p> <p>私たちは 2012 年より映像教材を活用した ESD（持続可能な開発のための教育）活動を全国で展開しており、映像を通じた情報発信に無限の可能性を感じてきました。本アワードが、SDGs 普及と社会課題の解決、各地域・団体の活動の活性化に寄与すると期待します。</p>                          |
| <p>いのちをつなぐ</p>  | <p><b>サラヤ株式会社</b></p> <p>SDGs の課題を Creative のチカラで映像表現することによって、人種、性別、年代を越えた多くの人々に理解される共有コンテンツが生まれ、世界中で行動変容を促す新たな潮流を創り出すことになることを願って止みません。</p>   |

<表現する目標>

| 第1回 (2018)  | 第2回 (2019)   | 第3回 (2020)  |
|---|--|---|
|  <p>目標1：貧困をなくそう<br/>                     目標4：質の高い教育をみんなに<br/>                     目標11：住み続けられるまちづくりを<br/>                     目標12：つくる責任つかう責任<br/>                     目標13：気候変動に具体的な対策を<br/>                     目標15：陸の豊かさも守ろう</p> |  <p>目標2：飢餓をゼロに<br/>                     目標5：ジェンダー平等を実現しよう<br/>                     目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに<br/>                     目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう<br/>                     目標14：海の豊かさを守ろう<br/>                     目標16：平和と公正をすべての人に</p> |  <p>目標3：すべての人に健康と福祉を<br/>                     目標6：安全な水とトイレを世界中に<br/>                     目標8：働きがいも経済成長も<br/>                     目標10：人や国の不平等をなくそう<br/>                     目標17：パートナーシップで目標を達成しよう</p> |

※3年間で17すべての目標を網羅する予定です。

※参考 SDGs クリエイティブアワード実行委員会名簿

| 役職    | 氏名    | 所属                              |
|-------|-------|---------------------------------|
| 実行委員長 | 水野 雅弘 | 株式会社 TREE/SDGs.TV               |
| 常任委員  | 川延 昌弘 | 国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン       |
|       | 佐竹 輝洋 | 札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課           |
|       | 長島 美紀 | 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク          |
|       | 渡邊 訓男 | 北海道 総合政策部 政策局 計画推進課 SDGs 推進グループ |

【本件に関するお問い合わせ】

SDGs クリエイティブアワード 実行委員会  
 事務局 株式会社 TREE (SDGs.TV) 内  
 〒248-0012 鎌倉市御成町 13-37-ブランシュ鎌倉 2階  
 電話：070-3532-8800 (平日 10時～17時)  
 WEB サイト：<https://www.sdgs.world/first2018/>  
 メール：[info@sdgs.world](mailto:info@sdgs.world)